



福田「『明日も』は、フロンターレサポーターだけでなく、幅広い層の人たちが元気をもらった曲だと思います」
宮崎「SHISHAMOにとって大切な曲になりました」

SHISHAMOと川崎の絆が深まった2017年
福田 2017年は大活躍でしたね。紅白も最高でした。

宮崎 いろいろなことがあった1年でしたね。紅白は「ありがとうございます」って気持ちで演奏しました。
福田 そして、川崎の市民文化

大使に就任していただき、ありがとうございます。
宮崎 川崎とのつながりもますます強くなって、忘れられない年になりました。
吉川 私は小学生の頃からサッカーをやっているのですが、川崎フロンターレの始球式に参加したことは、うれしかったです。「等々力でボールを蹴られるなんて!」と。ライブとは違う緊張感がありました。
松岡 始球式の後、サポーターの皆さんに「お疲れさま」って言ってもらったのもすごくうれしかったですね。
宮崎 2017年12月に行われたフロンターレの優勝パレードに花束プレゼンターとして参加したときは、パレードまで私たちが出て行っているのかなと不安だったんですが、サポーターの皆さんからは、「紅白見ます!」ってたくさん声をかけていただいで、心強かったです。



Gt.Vo(ギター・ボーカル) 宮崎朝子

フロンターレサポーターを描いた楽曲「明日も」

福田 僕は、毎朝「明日も」を聴いているんです。曲を聴くと、「よし!今日もがんばっている!」という気持ちになります。

宮崎 「明日も」は、初めて等々力陸上競技場にフロンターレを見に行ったとき、全力で心を込めて応援している皆さんの姿がすごく気になってつくった曲です。毎日、仕事や学校で頑張って、週末ここに来て元気をもらって、また仕事や学校に行っているんだろうなって想像して詞を書きました。だからたくさんの方が共感してくれて、「いつも『明日も』を聴いてスタジアムに向かってます!」みたいに言ってくれるのを聞いて、ほっとしたんです。今となっては私がこの詞に共感できるくらいサポーターになりましたけど(笑)。

吉川 「明日も」はフロンターレの応援にも使われています。私



Ba(ベース) 松岡彩



Dr(ドラム) 吉川美芽貴

は、子どもの頃からスタジアムでサポーターの方の応援を見ているので、そういう場の中で自分達の曲が応援で歌われるっていうのはうれしいですね。
松岡 サポーターの皆さんからは「いつも聴いています」という声をいただくことが多いです。私たちのことを優しく受け入れてくれていて、よりフロンターレを応援したい気持ちになります。「明日も」は、そういう人たちと会わせてくれた曲でもあります。

福田 SHISHAMOの皆さんがスタジアムで普通に歩いているのを見たときは、びっくりしました(笑)。すごく溶け込んでいるって感じがしますね。

宮崎 みんな「あ、来たね」くらいの(笑)。SHISHAMOって言うよりも、サポーター仲間として見てくれているっていうのを感じますね。

SPECIAL TALK

川崎市長 福田紀彦 × SHISHAMO

川崎育ちのSHISHAMO が旬です

2017年、NHK紅白歌合戦にも初出場した川崎発の3ピースロックバンド・SHISHAMO。川崎を愛する3人と、いつもSHISHAMOの楽曲に力をもらっているという福田紀彦市長に、川崎と音楽のこと、川崎とSHISHAMOのこれからのことを、たっぷりお話しいただきました。





川崎の宙のもと 自分が楽しめることを 一生続けていく

「これだ」というものを掴んでほしい

プラネタリウム弁士

河原 郁夫さん

天文好き小学生



プラネタリウム弁士を体験できる
ワークショップに参加しています

安藤 充尊さん(小学6年生) 写真左

宇宙のふしぎに興味があります。天
文宇宙検定3級にも挑戦しました

神保 美結さん(小学5年生) 写真右

※学年は2018年1月現在



河原 川崎は都会で夜も明るいから、星は見えないと思うている人が多いかもしれません。でも夜半過ぎると明かりが減って、星座が見えることも多い。小さい双眼鏡でも、3等星くらいまでは確認できます。

2人は星に興味がありますか？
安藤 もともと理科が好きで、「かわさき宙と緑の科学館」で初めてプラネタリウムを見て、「こんなものがあるんだ！」ってびっくりしました。

数多くの文化施設がある川崎市。そのひとつ、「かわさき宙と緑の科学館」には、川崎市のために開発された世界最高水準のプラネタリウムがあります。ここで87歳の今も現役のプラネタリウム弁士を務める河原郁夫さんが、天文に関心をもつ2人の地元小学生に、星空の魅力を伝えます。



神保 私も「かわさき宙と緑の科学館」で初めて体験して、「すごくきれいだな」って思いました。

河原 私はね、小学4年生のときに父に有楽町にあったプラネタリウムに連れて行ってもらい、すっかり夢中になりました。真っ暗になって星が出て、BGMがとてすてきでね。お小遣いをためて毎週のように通うようになりました。まさかそれが60年続く自分の仕事になるとは思わなかったですが。

安藤 今、僕たちは、プラネタリウムの操作や解説を体験できるワークショップに参加しているんです。

河原 それはいいですね。なかなか難しいでしょう？ 私は、自分が小学生のときに見たような魅力あるプラネタリウム解説を目指しています。今でも満足できません。毎回、自分の解説を録音して聞き返し、お客様によく伝えるように試行錯誤しています。
神保 そんなことに気を付けているんですか？

河原 はっきり発音するために、深呼吸をして、おへそ力を入れて話します。マイクの使い方も工夫しています。あとは、お客様に合わせること。プラネタリウムは赤ちゃんから高齢者までいろいろな人がいらつしゃいます。「今日はいいお天気ですね」といった雑談から始めて、お客様が聞く態勢になったら解説に入る。原稿通りではなく、お客様の様子を見て、臨機応変にアドリブを入れながら話します。ワークショップのほかに取り組んでいることはありますか？

神保 私はこの間、天文宇宙検定を受けました。

河原 小学生のうちに知識を身につけるのはいいことです。私の知識の多くは、小学生のときに覚えたことなんです。皆さんには、天文に限らず、子どものうちに、何かひとつ「これだ」というものを掴んでほしいですね。自分が楽しめることを探して、それを一生続けられれば一番いいと思いますね。

安藤 これからやりたいことはありますか？

河原 17年後の2035年、次に日本で見られる皆既日食を見たいと思っています。そのときは104歳になっています。北関東などで見られるので2人にもぜひ見てほしい。そのときお会いできるかもしれませんね。

かわさき宙と緑の科学館



川崎市出身のプラネタリウムクリエイター・大平貴之さんが開発した投影機「メガスターⅢフュージョン」を使用したプラネタリウムは、世界でも最高水準。ほかにも、川崎市の自然を紹介するコーナーなどがある。

川崎市多摩区枳形 7-1-2
TEL 044-922-4731
FAX 044-934-8659



Ikuro Kawahara

1930年生まれ。1957年より旧五島プラネタリウムでプラネタリウムの解説を始める。その後、神奈川県立青少年センター等で活動。現在も、かわさき宙と緑の科学館で月に一度プラネタリウム弁士を務めている

キングスカイフロント発の薬をつくりたい

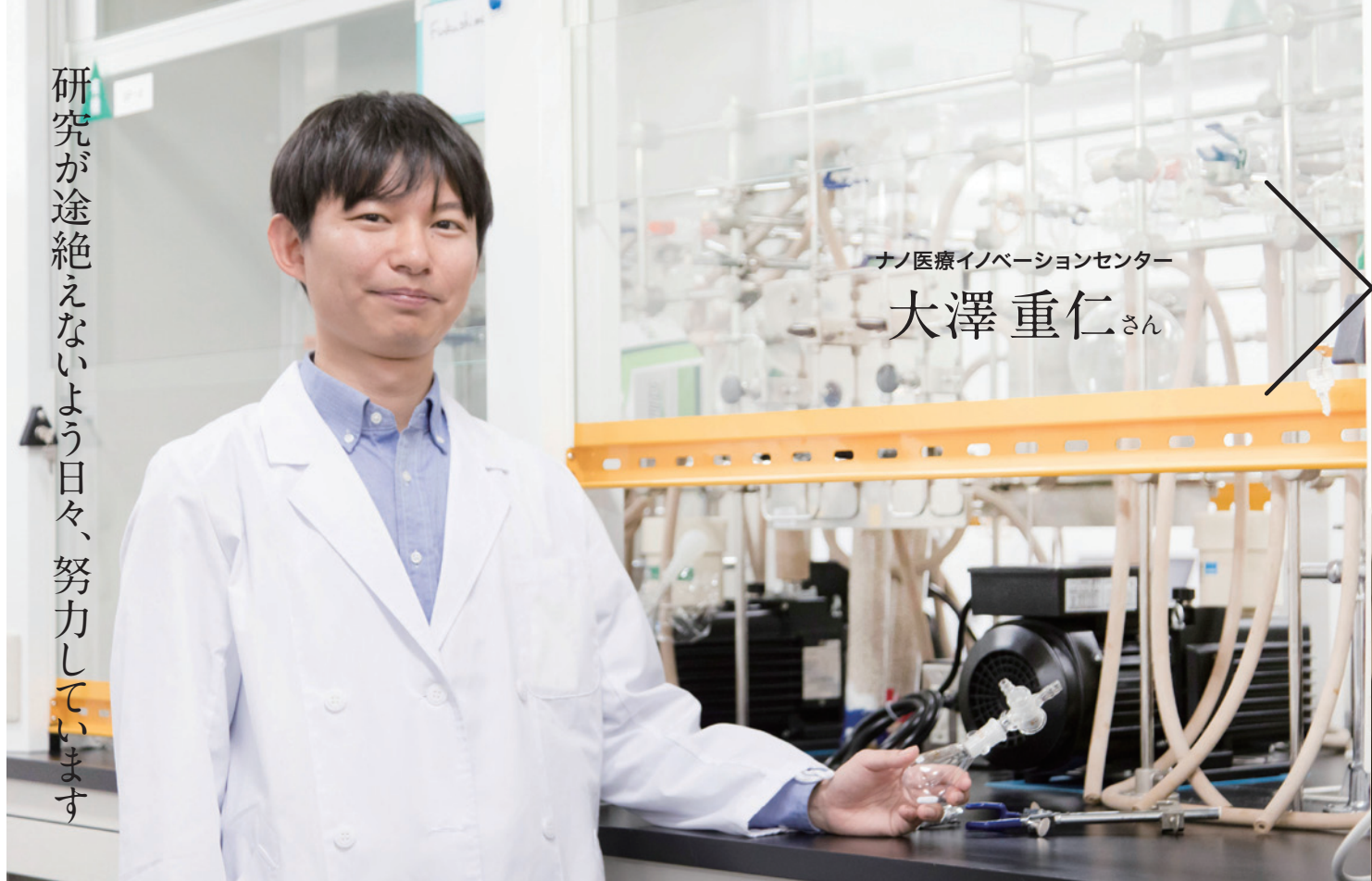


実験動物中央研究所

西銘 千代子さん

ナノ医療イノベーションセンター

大澤 重仁さん



研究が途絶えないよう日々、努力しています

Chiyoko Nishime

研究員 博士(医学)/ 麻布大学卒業後実中研へ。慶応義塾大学大学院医学研究科修了後、慶応義塾大学医学部医化学教室職員を経て現職。子どものころから生物が好きで実中研が宮前区にあったころ、「大人になったらここで働きたい」と思っていた夢を実現した。川崎市出身

公益財団法人

実験動物中央研究所 (実中研)

実験動物の研究・開発と実験動物を用いた人の病気の研究と解明、医療の発達と人々の健康・福祉の向上に貢献することを目的としている。1952年設立。2011年キングスカイフロントに移転。

公益財団法人

川崎市産業振興財団

ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

大学・企業・研究機関が一堂に会した研究施設。がんの治療やアルツハイマー病の治療率向上を目指し、研究を行っている。2015年設立。

Shigehito Osawa

iCONM客員研究員(東京理科大学理学部第一部応用化学科助教)/ 東京大学工学部マテリアル工学科卒。大学入学当時は天文学に興味を抱いていたが、大学4年生のときに現iCONMのセンター長かつ東京大学特任教授である片岡一則さんと出会い、「片岡先生の元で仕事がしたい」と研究員に



川崎に集積する
最先端の技術が、
世界を、未来を変える

川崎市の臨海部にあるキングスカイフロント。世界最高水準の技術で、健康や医療を中心とした数々の研究が行われています。そんな研究に従事する若い研究者の2人に話っていたきました。

大澤 キングスカイフロントに来て3年が経ちました。新たな研究所がどんどん建ってきていて、日本のライフイノベーション(医療改革)を先導していると感じます。大手製薬会社が撤退してしまう研究も、ここでは続けることができる、夢のある場所です。

西銘 それぞれの分野で同じ目標に向かって、同じ志をもつ研究者が集まっているので、お互いがとても刺激になります。

大澤 私は今、核酸を疾患部位に正しく届けることを研究しています。核酸とは、体の中のタンパク質の設計図のようなもの。病気になるタンパク質に異常が出るので、核酸を送ることで疾患を治療できます。ただ核酸は

体の中で分解されやすいので、カプセルに包んで疾患部位に運ぶ必要があります。患部で正しくカプセルが開くようにすることがテーマです。

西銘 私は例えば、大澤さんがつくったカプセルが狙った臓器(疾患部位)に正しく運ばれるか、また、疾患部位に留まって効果を発揮するか、といったことを実験動物を用いて評価しています。実中研には評価するためのモデル動物や機器がたくさんあります。ここに集う研究者とコラボして、キングスカイフロント発の薬がで

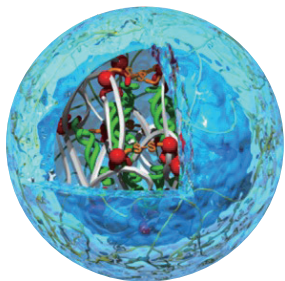
きるといえると思っています。

大澤 そうですね。「ナノ医療イノベーションセンター」(iCONM)ではナノマシンを打っておくと、血液中を常に回り病気を発見して、いつのまにか病気を治してしまう『体内病院』をつくらうとしています。完成までにはまだまだ道のりは長いですが、研究の一端を担えることを誇りに思います。

西銘 これからのために、子どもたちには科学に興味をもってもらいたいですね。毎年行っている「キングスカイフロント 夏の科学イベント」では、昨年も1000人以上の小学生が訪れてくれて大盛況でしたね。

大澤 本当に楽しかったです。ちょっとした工作してもらいました。あの中から将来、研究者になつてくれる子がいたらうれしいですね。

西銘 このエリアは重化学工業や軽工業などの古くから続く工



「ナノマシン」
がん細胞にのみ取り込まれる機能をもたせたナノメートル(10億分の1m)サイズのカプセル

殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」



羽田空港 多摩川
キングスカイフロント
羽田空港まで車で10分とアクセス抜群

世界最高水準の研究から新産業を創出するオープンイノベーション拠点。健康・医療・福祉・環境などの課題の解決に貢献するほか、この分野でのグローバルビジネスを生み出すことで日本の成長戦略の一翼を担う。

場がたくさんあります。最近ではそれらの工場技術を活かして医療分野に参画される企業も多くあります。キングスカイフロントに集う科学者や研究者たちのつながりはもちろんですが、医療分野に興味をもっている地元企業の方とも協力しながら地域全体を活性化していければいいと思っています。





ぐらりと
突然おそってくる地震や
暴れん坊の暴風雨。
ときどき自然は
意地悪するけれど、
不安な夜は、
隣の誰かと手をつなこう。
もしものときは、
モヤモヤもシクシクもはんぶんこ。
いつだって、
安心して暮らせるこの街は、
みんなのあったかい気持ちで
つながっている。



みんなでつくる さい 最幸のまちかわさき

わたしは川崎に暮らしています。
みんなが元気で輝いている、
この街が好き。

10年後、30年後の川崎が
誰にとっても
ずっと暮らしやすい街で
ありますように。

これからの川崎が
どんなことを大切にして
どんな方向へ進んでいくのか、
一緒に、ほんのすこしのぞいてみませんか。
しあわせあふれる
「最幸のまちかわさき」のボタンを
明日につないでいくために。

※「最幸」とは…川崎を幸せのあふれる「最も幸福なまち」にしていきたいという思いを込めて使用しています



守られて安全。つながり合って安心。 ～生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり～

Pick Up

市民一人一人が必要な
防災知識を身に付け、地域で
ともに支え合うための取り組み

避難所運営会議を開
催している避難所の割
合を、平成33年度まで
に68%から75.2%に



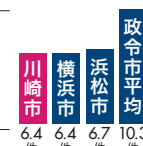
避難所訓練の様子

Pick Up

地域の防犯力を高め、
犯罪を未然に防ぐ地域づくり

政令指定都市で最も少ない
人口比犯罪件数。犯罪の少
ないまちづくりをこれからも

▶人口1000人当たりの刑法犯認知件数
政令指定都市で最少（平成27年大都市比較統計年表）



Pick Up

駅利用者の安全を守るため、
ホームドアなどの整備

誰もが安全・安心に
公共的施設を利用で
きると感じる人の割合
を、平成33年度までに
46.1%から49.7%に

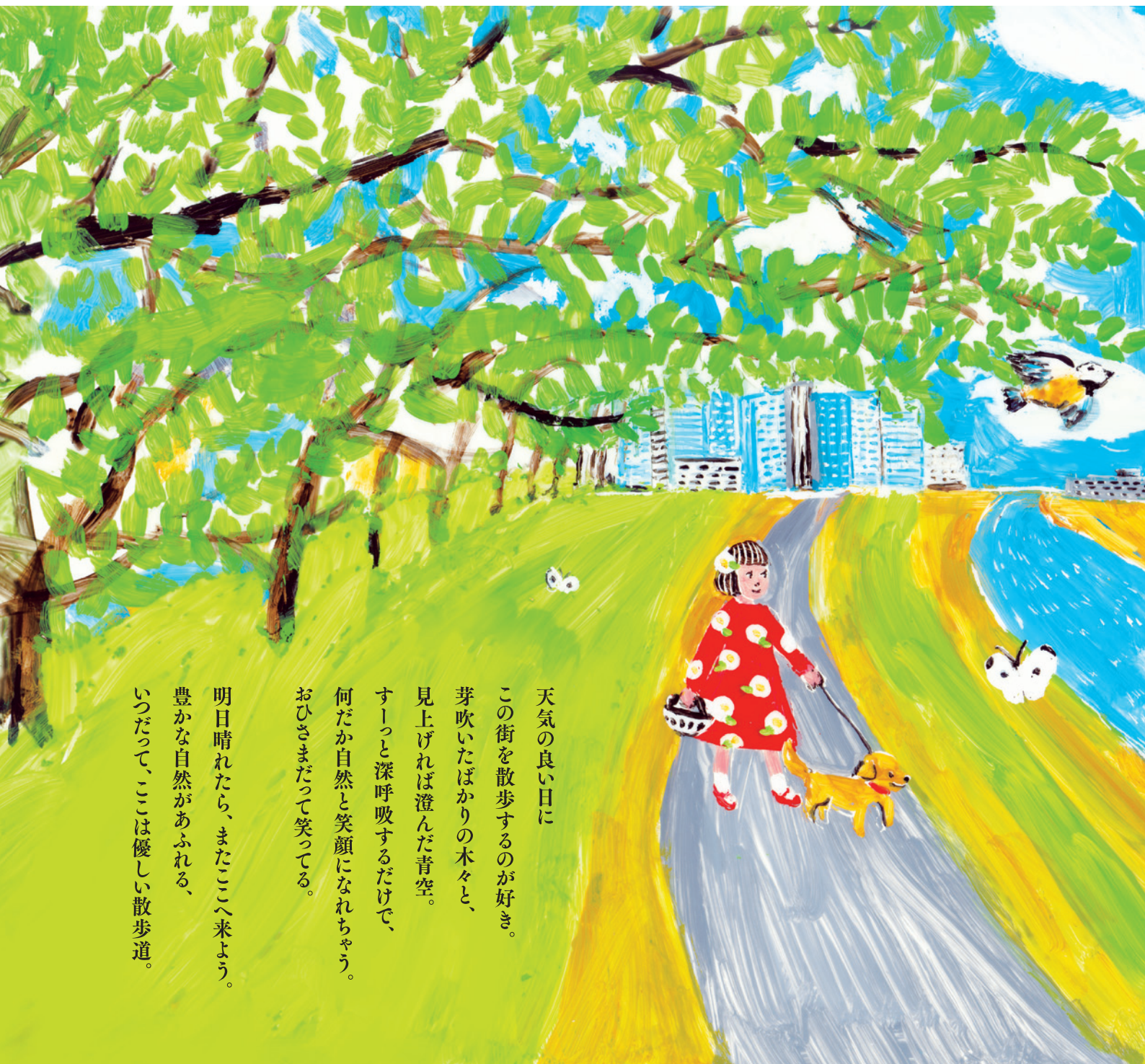


東急田園都市線
溝の口駅ホームドア

川崎市総合計画【第2期実施計画】

皆さんは「川崎市総合計画」をご存じですか。
市役所の仕事は、まちづくりの進め方や目指す将来像を示した
「総合計画」に基づいて行われています。
実は、皆さんの生活に、とても身近なものなんです。
絵本でその一部をご紹介します。

詳しくは



天気の良い日に
この街を散歩するのが好き。
芽吹いたばかりの木々と、
見上げれば澄んだ青空。
すーっと深呼吸するだけで、
何だか自然と笑顔になれちゃう。
おひさまだって笑ってる。
明日晴れたら、またここへ来よう。
豊かな自然があふれる、
いつだって、ここは優しい散歩道。



「いつだって、
毎朝、笑顔で見送ってくれる
パン屋のおじさん。
「おかえりなさい」
夕暮れ時、
手をふって声をかけてくれる
お隣のおばあちゃん。
みんなの優しいあいさつは、
私を守ってくれる
小さな魔法。

ぐるりと見渡せば、
いつだって、この街は
今日も満点の笑顔であふれている。
笑顔の向こうに見えるのは、
きらきら輝く明るい未来。



Pick Up

緑やスポーツ、レクリエーションの拠点である
等々力緑地の再編整備

平成36年度までに等々力陸
上競技場スタンドを増設し、収
容人数を3万5000人規模へ

▶等々力陸上競技場メインスタンド



まちを歩けばリフレッシュ！ ～市民生活を豊かにする環境づくり～

Pick Up

多様な主体との協働による
緑化の推進

市民100万本植樹運動によ
る累計植樹本数を平成33年
度までに90万本以上に。平
成36年度には100万本に！

▶植樹祭の様子



子育ても、まちぐるみなら安心！ ～子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり～

Pick Up

多様な保育ニーズに応え
質の高い保育・幼児教育を推進

平成34年4月までに7000人
以上の定員増に向け認可保
育所等を整備。3万5000人
を超える受入枠を確保し、待
機児童の解消を継続



遊具で元気に遊ぶ子どもたち

Pick Up

地域ぐるみで子どもたちの学習や体験を
サポートする地域の寺子屋事業の推進

地域の寺子屋を全ての市立
小・中学校へ

▶寺子屋で学ぶ子どもたちと地域の
大人が担う寺子屋先生



今日も私は、
この街で暮らしている。

いつだって豊かな気持ちで、
心穏やかに、いかに
暮らすことができるのは
みんなの個性が
ひとつひとつ
光っているから。

大好きな
この街の未来が
ずっとずっと
たくさんさんのあわせで
あふれていますように。



illustration : Kanako Ogawa

日曜日の楽しみは、
ふらりと音楽を
聴きに行くこと。

美術館でアートにときめいたり、
スポーツ観戦で
盛り上がる休日だって、最高。

星を見たくなったら、
プラネタリウムへ。

いつだって、誰もが
自分らしく生きられる。
魅力あふれるこの街は、
いつもみんなを
元気にしてくれる。



基本政策 5

まちを好きな人が多いと、まちは良くなる！ ～誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり～

Pick Up

迅速で的確な広報・広聴と
市民に開かれた情報共有の推進

市民意見の幅広い聴取と分
かりやすい情報発信

▶市民の皆さんと市長が直接対話を行う
「区民車座集會」



Pick Up

地域に身近な課題の
解決に向けた取り組み

参加と協働による暮らしやす
い地域社会へ

▶町内会の皆さんによる子どもの
見守り活動



基本政策 4

まちがステージ、みんなが主役！ ～活力と魅力あふれる力強い都市づくり～

Pick Up

スポーツをはじめとするさまざまな活動を通じた
「かわさきパラムーブメント」の推進

障害のあるなしにかかわらず、
誰もが活躍できる社会へ

▶KPMGカップ
ブラインドサッカークラブチーム選手権



Pick Up

誰もが文化芸術に
親しめる環境づくり

文化芸術を通じた川崎の魅
力発信

▶かわさきジャズ2017

